

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 竹林 幹雄
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成17年 8 月 29 日 19時～20時45分
	場所：北九州国際会議場
PI活動の種類	説明会（北九州地区）
訪問時の状況	<p>市民等参加者 45名 事務局従事者 10～15名(事務局代表説明者4名、司会者1名を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初はあまり多くなかった(30名程度)が、開始後30分程度の間にとっと増えた。 ・ 場所が駅から遠かった。地元民以外にはわかりにくい場所だった。 ・ 女性が5名程度参加されていた。20代と思われる若い人も3～5名ほど参加されていたし、聴衆の比較的年代層は広いのではと思われた。
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャパシティー一杯であった。少々手狭。逆に想像以上に(?)多くの方が参加されたのは成功といえる。 ・ 会場の案内はもう少しわかりやすくした方がよい。受付前の説明パネルも「ただ掲示されている」観が強く、積極的に見るには辛い。 ・ 質問が8つほど出たが、説明によって「福岡空港の問題」がどのような認識をされるのか、がよくわかったのではないかと少なくとも地域によって相当認識パターンに差があることは理解できたと思う(事務局にとっても、参加者にとっても)。 ・ 「何が問題なのか」を皆で考えるのがPIのステップ1なので、「現状で問題ないのでは？」と素直に意見される人の認識はかなり参考になると思われる。「現在」と「将来」とに問題を整理することも一案。 ・ 質問に対する回答が回りくどい印象を受けた。技術的な質問でなくても簡潔に受け答えされるよう工夫されることを望む。説明の際には難しい・一般的ではない術語(特に外来語の類)は避けた方がよいと思う。